



ふれあい 放水路

2004
(平成16年)
第123号
6月

神戸川越砂防大木敷・御岳水防



放水路に緑を
二〇〇〇年の森づくり
第五回植樹祭開催

六月三日、斐伊川放水路事業用地の上塩冶町地内で植樹祭を開催しました。

このイベントは、国土交通省・島根県・出雲市の共催で平成十二年から毎年、出雲市内六中学校の中学生の協力を得て行っているものです。

今年も中学生他関係者およそ千数百人が参加しての賑やかな植樹祭となりました。

植樹会場では、植栽方法を提唱して頂いた、横浜国立大学名誉教授で植物生態学者の宮脇昭先生の指導のもと、千五百㎡の敷地に十九種およそ三千本の広葉樹の苗木を植え付け豊かな森林の形成を願いました。

山陰地方は例年より十日余り早く梅雨入りし、天候が心配されましたが、この日は気持ちの良い青空が広がり、初夏の陽気となりました。作業後の冷たいお茶は格別だったことでしょう。

空から眺める斐伊川放水路の進捗状況

① 神戸川河口付近



旧崎屋橋の撤去及び境島地区の築堤工事が完了しました。妙見橋が完成し、平成15年7月に供用開始しました。今後は、河道掘削・低水護岸工事を進捗させます。

斐伊川放水路事業も平成6年5月の起工式以来、今年で11年目を迎えました。皆様のご協力により工事も順調に進んでいます。前回(第111号)、前々回(第99号)と工事の進捗状況を写真で紹介していますが、今年は1年が経過したその後の現場の状況を紹介します。

③ 馬木吊橋・馬木大橋付近



馬木大橋が平成15年10月、馬木吊橋が平成16年3月にそれぞれ完成・供用開始しました。両橋とも引き続き旧橋撤去工事を施工中です。

② 神門橋・神戸堰・古志大橋付近



神門橋の下部工事を施工中です。古志大橋右岸上流の高水護岸工事が完了しました。神戸堰については、今秋より改築工事に着手する予定です。

斐伊川放水路全景



写真：平成16年3月28日撮影

④ 開削部上流付近



大津地区の工事用道路が完成し、開削部4km区間(半分から大津まで)の工事用道路が全てつながりました。今後は開削部全域で掘削工事を進捗させます。

ふれあい
放水路
通信



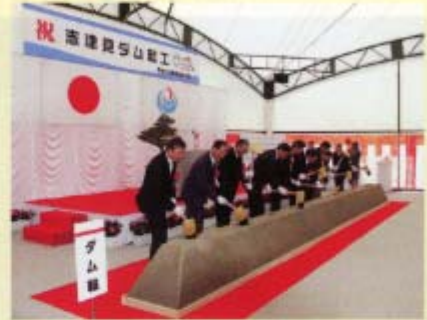
発破ボタンのスイッチオン

式当日は、国土交通省をはじめ、島根県、頓原町、地元住民等およそ百五十名の出席のもと、関係者がくわ入れをして工事の安全を願いました。また、初発破の際、エゴ風船を飛ばして着工を祝いました。

国土交通省が進めている志津見ダム本体工事の起工式を六月二十日、頓原町角井の現地で行いました。

志津見ダムは、神戸川上流に位置し、斐伊川・神戸川治水計画の三点セットの一つを担うものです。昭和六十二年の事業着手以来、現在、六割方進捗しており、今後は二〇一〇年の完成を目指し工事を進めていく予定です。

志津見ダム
本体工事
起工式



関係者によるくわ入れ

斐伊川水防演習開催

六月十九日、斐伊川河川敷で国土交通省・島根県・斐伊川流域六市町（出雲市・平田市・斐川町・加茂町・木次町・三刀屋町）共催による斐伊川水防演習を開催しました。

演習は、洪水の被害を最小限に食い止めるための水防活動をより迅速に行えるよう、また水防工法の認識と日頃の水防に対する意識向上を目的に毎年出水期を前に実施しています。

この日は、斐伊川流域市町をはじめとする防災に携わる機関・団体などから総勢三百人が参加し、出雲地方独特の「出雲結び工」をはじめとする十の水防工法や、光ケーブルを使った情報コンセントによる画像伝達訓練などが実践され、会場は本番さながらの空気に包まれていました。



出雲結び工



斐伊川放水路の工事实施状況

(平成16年5月以降の発注工事)



工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 工事用道路管理工事	大和建設(株)	自 H16年6月10日 至 H16年9月30日
斐伊川放水路 大津地区整備工事	出雲グリーン工業(株)	自 H16年6月19日 至 H16年10月31日

国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所
〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850
メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/homepage.htm

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室 事業対策官